

Rotary International
2009~2010



ロータリーの未来は
あなたの手に

中村ロータリークラブ

週報(2009~2010)

会 長/佐 竹 義 典	創 立/昭 和 3 8 年 1 0 月 2 日
幹 事/荒 井 浄	例会日/水 曜 日 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0
会報委員長/黒 石 伸 二	例会場/新 ロ イ ヤ ル ホ テ ル 四 万 十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
	TEL(0880)35-4551 FAX(0880)35-4553
	●ホームページ http://www.nakamura-rc.com/

週報 No.2160

第2291回 平成21年3月17日(晴れ)

本日のプログラム：野外例会(いやしの里 楷の木)
3月24日のプログラム：会員スピーチ 地区大会報告
3月31日は休会

【会長挨拶】佐竹会長

- ・こんにちは。先週末の高知市での地区大会に出席された皆さん、お疲れさまでした。詳しい報告や感想は、だんだんの方に、次週の例会で行っていただきます。
- ・本日は良いお天気に恵まれての野外例会となりました。いやしの里での「楷の木を訪ねて例会」は、2年前の5月、新田会長の時に開催して以来です。楷の木の経過については、福原・社会奉仕委員長より伝えていただきます。よろしく願います。

【幹事報告】荒井幹事

- ・宿毛ロータリークラブより
第5回山本会長杯ゴルフ大会の案内
4/4(日)四万十カントリークラブ
8:20集合 8:42スタート
- ・四万十市より
四万十川市民一斉清掃への参加のお願い
4/11(日)午前8:00~9:00
(小雨決行・雨天中止)
中村RC・・・4班・渡川緑地集合~右岸
の入田桜つつみ付近~渡川大橋~清掃

■3/31(水)休会(定款第6条第1節
適用)



● 本日のプログラム

野外例会 楷の木（いやしの里）

17日は下田のいやしの里に飛び出し、「楷の木」例会を開催。33人が出席した。

天気は上々だったものの風が強くやや肌寒さを感じたが、いやしの里の駐車場でめいめいお弁当を広げた。

目当ての楷の木は、まだ芽吹きも見られず、冬の装いのまま。木の下には雑草などもなく、一同、掃除もそこそこに、楷の木見物に切り替えた。下田中学校横に通じる沿線でひときわ大きくなっている1本が道路を覆うほどに成長しており、造園のプロ・池田会員が、せん定を含めた木自体の移植について解説する場面も見られた。



福原社会奉仕委員長より楷の木について説明

■福原・社会奉仕委員長

本日はお忙しい中、野外例会へお集まりくださりありがとうございます。早速ですが、楷の木の由来について若干ご説明します。楷の木は、中国の孔子廟に多く植えられています。学問を育てる、秀でた人を育てるという意味から「学問の木」と呼ばれ、足利RCが40周年記念事業で、足利市に植わっていた楷の木の種を全国の約2000のクラブと2550地区内の全ての小、中学校に種を送ったそうです。

当クラブがその種を贈られたのは、1996～97年、白木会長—新田幹事の年度でした。理事会に諮り、現在は当クラブOBの市川敏治会員に種をあずけ、育ててもらうことにしたそうです。いただいた種は32粒。そのうち、発芽したのは6本。5年間で2本が枯れ、4本だけ残っています。いやしの里には平成15年2月5日に植樹し、足利RCへ当時の白木会長が手紙を送り、それが今も残っているそうです。

植樹したとの連絡は長野、岐阜、高松からも寄せられたそうですが、中村RCでは、市川さんが、1人で水やりや草引きなどの世話をしてくださいました。植物を愛しみ育てることはロータ



リアンの重要な社会奉仕活動だと、身をもって教えてくださった気がします。いやしの里の3個所に4本が植わっています。楷の木は、紅葉の落葉樹ですが、見ても分かるとおり、芽も出ていません。木の植わっている場所を確認して、気がつく範囲で雑草などを除去していただければ幸いです。



ぼつぼつやるかい！



風が強いね～



こんな格好でもよかった？



カマ持ってきちよるぜ！



草引きはまかしちよって！



草ばあはひいちよこ！



池田会員より楷の木の移植について説明



一番大きな楷の木バックに記念撮影



【こぼれ話】白木久雄会員

「天津飯」、「天津甘栗」は中国が発祥地？

こんにちには。例会で時間を拝借するほどのことではないのですが、ちょっと報告を一。2月17日の四万十市国際交流員の紀艶さんのスピーチで、「天津」という地名が出ました。近くの席の大杉（兄）さんが「『天津飯』『天津甘栗』は中国でできたか聞いてくれ」と頼まれ、卓話後、紀艶さんにそのことを聞きました。

○…彼女は「平野部なので(天津に)栗はありません」。「それなら、どうして日本で天津甘栗というのですか？」と聞くと「知りません」。その後、同行した企画広報課の上岡弘一さんが調べて連絡してくれました。天津（向こうではテンチンと言う）は貿易港で、近郊の山間部から栗を集めて、日本に船で送ったから、ということだったようです。

○…また、紀艶さんは、「中国で『天津飯』を見たことはない」とも。じゃ、なぜ天津飯と呼ぶのかについては、これまた「分からない」。上岡さんによると、日本が食料不足になったとき、天津から運んだ米（ご飯）に、卵を載せ、あんをかけて食べたところ、大変おいしかった。天津から来た米だったので、天津飯と名付けた。いずれも、貿易港・天津から来たのが命名の由来だったようです。ミニ知識として報告しておきます。

こども見守り事業

利岡小児童が佐竹会長らに感謝のメダル

いつも見守ってくれてありがとう。四万十市の利岡小（伊与田良子校長、39人）で6日、こども見守り隊・ありがとう集会が開かれ、中村RCの佐竹会長、岡山・前新世代活動奉仕委員長らに子どもたちから「こども守るんジャー いつもありがとう」との感謝のメダルが贈られた。

昨年4月、当クラブが、「こども見守り事業」に役立てると、同小にベスト50着を寄贈したのをきっかけに、同小などを校区とする後川地区をはじめ、四万十市内でのこども見守り活動の拡大、発展に役立っている。

この日は、児童会代表から「いつも見守ってくださりありがとう」のお礼の言葉と一緒に、感謝のメダルを贈呈された。式後、佐竹会長らは、「これからもロータリー精神で社会奉仕活動をしていきたい」と話した。



子どもたちから感謝のメダルをかけてもらう佐竹会長、岡山前委員長ら

【出席報告】

- ・会員総数/47名
- ・本日の出席/33名



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとなることが出来ます。

2009-10年度国際ロータリー会長 ジョン・ケニー